



であい・ふれあい・ささえあい  
困ったときはおたがいさま

平成25年11月発行  
発行元 NPO法人 ユーアンドアイ  
発行責任者 佐藤真智子

# ハローユーアンドアイ

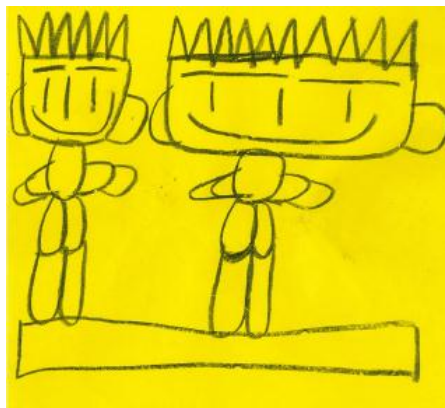
61号

私たちは・・・

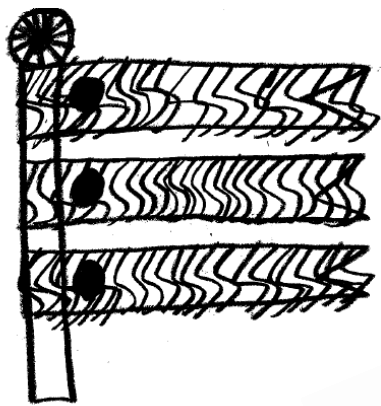
歳をとっても 障がいがあっても 住み慣れた地域の中で その人らしく、  
心豊かに暮らしていける そんな新しい“ふれあい社会”を目指しています。

## ～芸術の秋～

ぱれっとの休日活動としてアート活動に取り組みました。



それぞれが自由に  
思いのまま筆をと  
り作品を完成させ  
ました。



## ～食欲の秋～



## ～スポーツの秋～

小学校の運動会は春に行われる所も増え  
ましたが、支援員で入っている松葉小学校

の運動会は、雨で1日  
延期となりましたが、  
10/6に行われました。

お子さんは、終始笑  
顔で輝いていました！



協力者の福利厚生、  
月1回のカレーの日。  
色々な話で大盛り上がり。

ぱれっとでは、おやつに  
たこ焼き器で、ホットケ  
ーキを作りました。みんな楽  
しそう！



## 《移動サービス運転者認定講習会》

移動サービス運転者認定講習会が、9/28・29 龍ヶ崎市民活動センターにおいて開催されました。主催は茨城移動サービス団体連絡会で、県内各地から21名の参加がありました。ユーアンドアイは当初から協力団体として関わってきました。

私たちは、設立当初から生活支援の一部として高齢者・障がい者の“おでかけ”をサポートしてきましたが、18年から国交省道路運送法に基づく“福祉有償運送”として行うことになりました。法に則ったサービスになると共に利用者が限定され、運転協力者の認定講習会受講が義務付けられることになりました。

講習会参加者は、すでに福祉の現場で働いている人・全く無経験でボランティアとして社会貢献を志している人など様々ですが、2日にわたり取り組む熱意が伝わる素晴らしい講習会になりました。すでに地域で利用者の安心・安全に心がけ、活動を始めていることと思います。

県内各地で、通院など単独では外出が困難な方の移動を支える活動を、NPO法人や社会福祉協議会が行っています。今後、高齢化が進む中、移動手段の確保はますます大事になると思います。課題を抱えながらも“誰もが暮らしやすい地域”を目指しこれからも頑張る積りですので、どうぞご支援ください。



・・・会員さんから・・・

## リレートーク

・・・会員さんへ・・・



### 「ゆるる思春期」

矢島 輝美さん



わが家は主人と私と高校生、中学生の息子の4人家族です。

3ヶ月前頃から長男は自分がどのように生きていけばいいのか悩んでいます。

そこで福沢諭吉の「心訓」をわが家の家訓にすることにしました。

実際は福沢先生の作ったものではなく作者不明ですが、ひとつひとつが含蓄のある心に沁みる言葉なので右に書き添えました。



- 一、 世の中で一番楽しく立派な事は一生を貫く仕事を持つという事です
- 一、 世の中で一番みじめな事は人間として教養のない事です
- 一、 一番きびしい事はする仕事がない事です
- 一、 一番みにくい事は他人の生活をうらやむ事です
- 一、 一番尊い事は人の為に奉仕し決して恩にきせない事です
- 一、 一番美しい事はすべての物に愛情を持つという事です
- 一、 一番悲しいことはうそをつく事です

心訓

## 飯嶋真由美さんのコラム 私の好きな子どもたち ①「うまくやっっていけるかな？」

縁あって十何年か介助員（支援員）という形で小学校の中で、障害のある（といわれる）子どもたちに関わってきた。

肢体不自由、脳性麻痺、視力障害、自閉症、ダウン症、多動性症候群、その他諸々。周りの大人たちから様々な病名のくくりで呼ばれてしまう子どもたち。十数年前この仕事をユーアンドアイで教育委員会から受け、初めて担当し始めた頃は、学校の先生から「まだ、お子さんとは会っていないのですが、このお子さんは〇〇症なので、こういうお子さんだと思います。出来ることもこれくらいかと思えますので。」と、実際に会う前からタイプと出来ることを決めつけてしまっている先生の説明を何の疑問も持たずに聞いている自分がいた。「〇〇症だから〇〇が出来ない。〇〇が問題。どんな形で学級の活動に参加させてあげたら良いのか、周りの子どもたちとどの様に関わらせたら良いのか課題」の様な、今考えるとホントに失礼な図式を会う前からぼんやりと頭の中で描いていた。

しかし、そんな心配も初めて担当したお子さんとの学校生活の中で消えていった。視覚障害と肢体不自由のある M ちゃん。親御さんが普通学校への就学を希望して地元の小学校に入学してきた。

周りの人の言葉の理解も少し難しい。自分のしてもらいたいことを伝えるのも言葉ではまだ出来ない。「頑張っって支えていくからね！」と、強く思う反面、上手くやっっていけるかなとふっとそんな気持ちにもなってしまった。

この仕事を始めしばらく後になって気づいたことがある。障害がある子＝いろいろ大変な子。何も問題が起こっていないときから、何か問題がおこるはず、何か起こらないはずがない。知的な遅れが無い場合でも、障害がある＝知的な問題や、情緒、コミュニケーションが出来ないはずのような捉え方が、あまり障害を持った人との接触面が無かった先生方や保護者の中で少なくはないということだ。けしてそうばかりではないのに障害とつくと、何も出来ないと考えられてしまうことは悲しいし、とても失礼なことである。（一人ひとりが内に素晴らしいものを持っているのに。）当初の私もその失礼な人間の一人であったがゆえ、そうでないことを一人でも多くの人に知ってもらいたくて、3回シリーズで『私の好きな子どもたち』と題して書くこととしました。



### 活動報告

#### <たすけあい>

運転協力者の研修を、安全を第一に考え、危険予知のテキストを用いて行いました。お互い活発な意見交換の中で、市内の要注意ポイントも出され、改めて情報の共有を図ることができました。その後も様々な意見が多く出て、中身の濃い有意義な時間となりました。また、冬に向けて雪の日の送迎は危険が大きく難しいとの意見も出され、利用者にご理解をいただくためのお手紙を出すことになりました。ご協力お願いします。



#### <ヘルパーステーション>

「刻み食を食べてみよう」というテーマで研修会を行いました。作ったメニューは大根の煮物・なすのみそ炒め・さつまあげの煮物でした。みんなで、おいしくいただきました。その後、困難事例の検討、ひやりハットの共有、プライバシー保護に関する留意点などについてのミーティングや情報交換を行い、明日からのよりよいサービス提供のための研修となりました。



## 《ユーアンドアイの動き》

7/2	市民協働推進会議(佐藤)	8/21	龍ヶ崎市障がい者自立支援協議会(木島)
7/3	茨城発達障害研修会(木島・植木)		龍ヶ崎遊びの拠点づくり検討会議(木島け)
7/12	龍ヶ崎市障がい者自立支援協議会(木島)	8/22	市民会議(佐藤)
7/21	ぱれっと研修 in 牛久(4名)	8/28	市民協働推進会議(佐藤)
7/22	龍ヶ崎遊びの拠点づくり検討会議(木島け)	8/31	ヘルパーステーション研修会
7/23	安全運転管理者講習会 in 土浦(佐藤・泰道)	9/4	茨移連理事会(佐藤)
7/26	ぱれっとお祭り外出	9/14~16	茨城県自閉症児者支援専門職員養成研修会 (木島)
7/28~30	さわやか福祉財団研修会 in 仙台(佐藤)	9/27	公共交通会議(佐藤)
8/2	児童発達支援管理者研修(木島)	9/28~29	移動サービス運転者認定講習会 in 龍ヶ崎
8/8	地域円卓会議 in 水戸(佐藤)	9/30	龍ヶ崎遊びの拠点づくり検討会議(木島け)
8/15~16	ぱれっとチャレンジステイ		
8/20	ヘルパーステーション研修会		

## 《活動状況》 4月~6月

たすけあい活動時間	1,164時間	放課後等デイサービス	495人
訪問介護活動時間	724時間	放課後預かり	42人
いきいき活動時間	850.3時間	障がい児就学支援	3,929.5時間
		会員総数	326人

### ～事務所からのお知らせ・お願い～

#### 〈衛生管理〉

インフルエンザの流行る季節となりました。手洗い・うがいをこころがけましょう。

#### 〈年末年始の事務所〉

12/28(土)~1/5(日)は事務所がお休みとなります。

#### 〈おでかけサービスを利用される方〉

大雪や台風等の天候によっては、危険を伴うこともあり、キャンセルさせていただくこともありますので、ご了承下さい。



#### 編集後記

今年の十五夜は、夜空にきれいなお月様を見ることができましたね。保育園で十五夜の話聞いたという弟に対し、兄は「来年は十六夜になるんだよ！」と弟に説明。すかさず「ちがうよ、お兄ちゃん！」と弟。聞けば、お月様も誕生日が来ると思った兄。帰りの車の中は笑いが絶えまなく続き、その夜我が家は笑いの秋となりました。(K×2)

## NPO 法人ユーアンドアイ

〒301-0017

茨城県龍ヶ崎市姫宮町104番地

電話(平日 9:30~17:00) 0297-62-2667

FAX: 0297-62-2698

ホームページ <http://www.npo-ibaraki.or.jp>

ご意見・お問い合わせメールアドレス

[yu-and-ai@npo-ibaraki.or.jp](mailto:yu-and-ai@npo-ibaraki.or.jp)

前回の答えは10個でした。

次回発行は1月の予定です。皆さんからの情報をお待ちしています。

